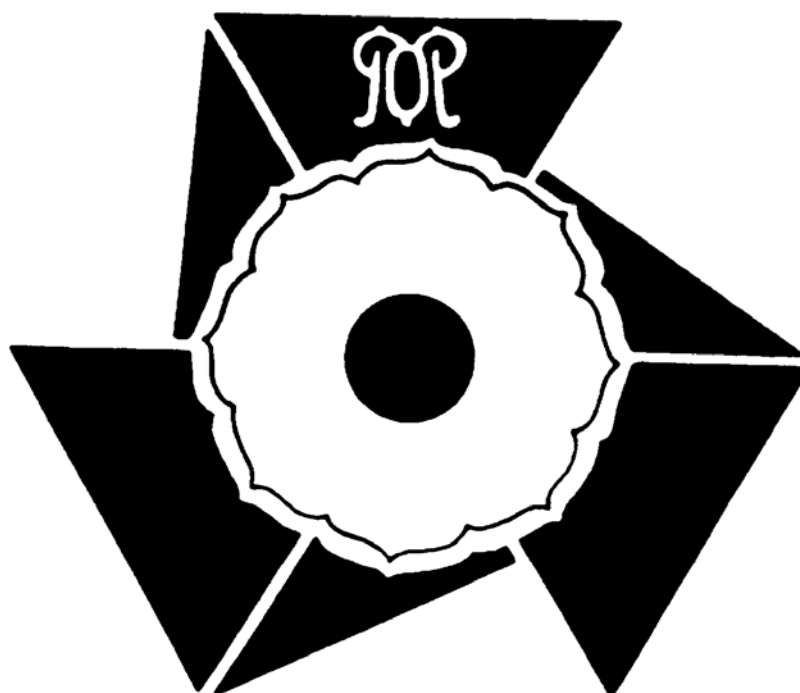


令和2年度

第43回 全国高等学校柔道選手権大会
神奈川県予選会
(男子個人の部・女子個人の部)



日 時 令和3年3月6日 (土)
男子・女子 全階級
受付・計量 9時～ 開始 10時～

会 場 シンコースポーツ神奈川県立武道館

主 催 神奈川県柔道連盟
神奈川県高等学校体育連盟

大会役員

会 長	塩 浦 健 吾					
副 会 長	竹 内 博 之	吉 田 宏				
顧 問	武 田 準 幸 大 塚 喜 英 万 福 晶 博 林 田 和 孝	小 林 富 雄 浜 野 鎮 夫 波 多 野 和 敬 金 子 伸 一	込 山 英 雄 盛 本 輝 夫 児 島 義 明 菅 原 信 明	高 見 澤 隆 朝 野 哲 夫 栃 本 章	二 挺 木 幸 雄 鈴 木 久 男 吉 川 勝 啓	
参 与	金 子 好 幸 宗 方 泰 司	伊 原 伸 一 郎	中 野 浩	梅 澤 一 之	名 渡 山 博	
大会 委員 長	井 上 信 二					
大会 副 委員 長	鈴 木 寛 人	國 吉 真 登 茂	多 田 功	獅 々 倉 聡		
競 技 委 員 長	鏑 木 文 隆					
競 技 副 委 員 長	平 山 与 八	川 上 智 一				
競 技 委 員	北 原 祥 二 郎 聖 生 晃 史 高 松 正 裕 笠 原 一 重 水 落 健 太	中 野 一 鈴 木 克 博 金 子 竜 彦 古 屋 善 之 八 卷 祐	小 林 幹 幸 金 田 隆 志 伊 丹 裕 子 大 塩 隆 司 櫻 井 俊 明	多 田 昌 人 山 下 晃 生 濱 名 淳 込 山 清	栃 本 章 太 峯 岸 義 則 武 田 淳 子 中 島 慎 二	
審 判 委 員 長	平 山 与 八					
審 判 員	荒 卷 泰 蔵 笠 原 一 重 古 賀 颯 人 坂 本 和 洋 高 橋 雄 太 多 田 昌 人 仲 島 達 也 廣 川 真 由 美 森 山 か お り	伊 丹 裕 子 柏 木 義 樹 五 ノ 井 大 裕 柴 田 啓 介 高 橋 良 治 田 端 創 円 中 島 慎 二 古 屋 善 之 八 卷 祐	請 園 藍 里 金 岡 秀 明 小 林 幹 幸 志 村 優 太 高 松 正 裕 土 居 将 也 永 富 新 悟 本 田 卓	薄 井 雅 浩 金 子 竜 彦 込 山 清 聖 生 晃 史 竹 内 宣 一 栃 本 章 太 二 階 堂 陽 一 水 落 健 太	大 塩 隆 司 北 原 祥 二 郎 齋 藤 稔 惣 田 充 武 田 淳 子 中 島 結 樹 濱 名 淳 峯 岸 義 則	
救 護	大 友 隆 雄					
補 助 役 員	東 海 大 学 付 属 相 模 高 等 学 校 藤 嶺 学 園 藤 沢 高 等 学 校 藤 沢 翔 陵 高 等 学 校 横 須 賀 学 院 高 等 学 校 桐 蔭 学 園 高 等 学 校		柔 道 部 生 徒			

令和2年度 第43回 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県 予選会 要項 (個人の部)

朱書き = 変更事項

1. 主催：神奈川県柔道連盟・神奈川県高等学校体育連盟

2. 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

3. 日時・場所

(1) 個人の部 ※団体の部は中止

①令和3年3月6日(土) 神奈川県立武道館(横浜市港北区岸根町725 TEL045-491-4321)

ア. 男子・女子 全階級・・・受付・計量 9時から 試合開始10時から

※受付・計量は開始から45分間とする。

4. 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。

(3) 令和2年度(財)全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。

(4) 平成14年4月2日以降に生まれた者とする。(令和2年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍)ただし、同一学年の出場は1回限りとする。

(5) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。

(6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

(7) 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。

(8) 参加資格の特例

①上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技実施(大会)要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

②上記(4)のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。

(9) 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること。(短期留学は認めない)

(10) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。

(11) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医(脳神経外科)の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(12) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

5. 競技種目

(1) 男子個人の部

①下記の体重区分による。各階級への参加人数は、すでにエントリーされた選手の中から各学校決めた1名のみ出場とする。ただし、常任委員会で定められたシード選手はこの1名に含めない。よって、各校の出場者はシード選手+1名となる。なお、シード選手は、トーナメント表に記載されている。 ※トーナメント表は神奈川県高体連柔道専門部ホームページに掲載

ア. 60kg級(60kg以下)

イ. 66kg級(60kgを超えて66kg以下)

ウ. 73kg級(66kgを超えて73kg以下)

エ. 81kg級(73kgを超えて81kg以下)

オ. 無差別級

次ページに続く

前ページから

(2) 女子個人の部

- ①下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は制限しない。
 - ア. 48kg級(48kg以下)
 - イ. 52kg級(48kgを超えて52kg以下)
 - ウ. 57kg級(52kgを超えて57kg以下)
 - エ. 63kg級(57kgを超えて63kg以下)
 - オ. 無差別級

(3) 男子・女子個人の部ともに登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。

(4) 男子個人の部の外国人留学生の参加制限は設けず、かつ、女子個人の部は人数制限も設けない。

(5) 男子・女子個人の部の試合結果は次年度国体の選考対象とする。

6. 試合規定

(1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。

(2) 試合時間は3分とする。

(3) 優勢勝ちの判定基準

- ①「技あり」「僅差」(指導の差2)以上とする。優勢勝ちの基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数が差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(4) 競技方法はトーナメント戦とする。

(5) 表彰は各階級第5位まで賞状を贈る。

7. 申込方法

(1) 男子個人の部 出場の各校顧問は出場者1名を各地区委員長に告げる。なお、申し込み用紙による手続きは行わない。

(2) 女子個人の部の申し込みはすでに完了しているので行わない。

(3) 参加料は次のとおりとする。

- ①個人の部の参加料は無料とする。

※団体の部の参加料返金は完了しました。

8. その他

(1) 男子・女子個人の部各階級の優勝者5名を県代表として全国大会に推薦する。

(2) 出場選手・引率者・大会役員は高体連で定められている「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン」を徹底・遵守する。

- ①各学校の顧問教諭の責任において、出場生徒および入館する全生徒の保護者から「生徒の健康チェックシート及び参加確認書」(所定用紙)を回収し、保管すること。
- ②各学校の顧問教諭の責任において、「参加校状況報告書」(所定用紙)を正確に記入し、受付時に大会本部に提出すること。
- ③全員がマスクを持参し、試合を行っている時以外は必ず着用すること。なお、試合中、試合者はマスクを指定されたビニール袋に保管し、試合後、取り違えないよう気を付けること。
- ④こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑤試合中に大きな声で会話・応援をしないこと。
- ⑥試合の前後のミーティングにおいて密を避けること。なお、試合後、試合者は指定された場所で呼吸が整うまで待機すること。
- ⑦会場内での飲食は原則禁止とする。ただし、選手については栄養補給のためであればそれを認める。その際は、人との対面・会話をせず、できるだけマスクを着用して行う。
- ⑧無観客試合とする。出場選手以外の生徒の入館は一切認めない。

9. 今大会実施までの経緯について

緊急事態宣言が発出され、全国高等学校柔道選手権大会 団体の部 が中止となり、それに伴い県予選 団体の部 も中止となりました。個人の部は大会を縮小した形で実施することとしました。関係者のみなさまには、何卒、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

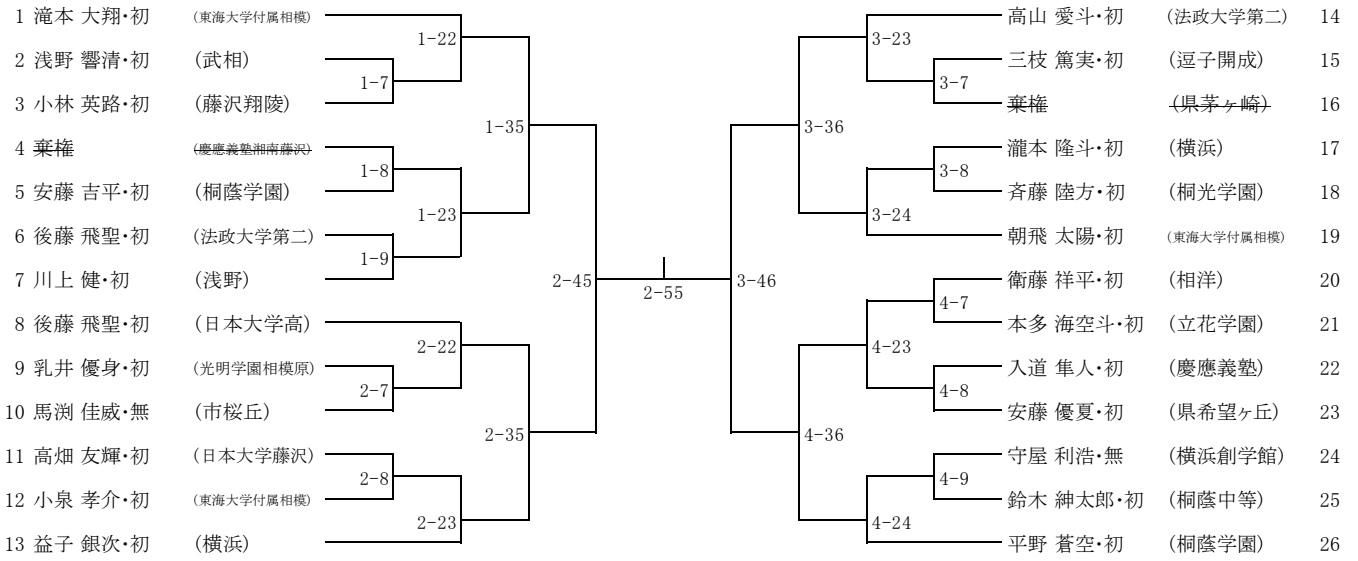
全国選手権大会県予選(男子個人)

年度	参加人数	階級	1位	2位	3位		本大会出場選手	入賞記録	
H23	80	-60	井澤 (東海)	西村 (慶応)	五十嵐 (桐蔭)	安居院 (小田原)	井澤 (東海)		
	127	-73	鳥居 (東海)	高梨 (東海)	竹内 (桐蔭)	高尾 (秦総)	鳥居 (東海)		
	42	-81	小原 (東海)	渡部 (桐蔭)	奥山 (桐蔭)	尾方 (東海)	小原 (東海)	小原 (東海)	優勝
	39	-90	山本 (桐蔭)	小原 (桐蔭)	眞砂谷 (東海)	小宮 (相洋)	山本 (桐蔭)		
	50	無差別	後藤 (慶応)	岡田 (桐蔭)	藤井 (桐蔭)	春日 (東海)	後藤 (慶応)		
H24	74	-60	関野 (相洋)	井澤 (東海)	濱中 (武相)	佐藤 (慶應)	関野 (相洋)		
	124	-73	間瀬 (相洋)	俵 (東海)	西村 (慶應)	坂内 (桐蔭)	間瀬 (相洋)		
	44	-81	尾方 (東海)	木原 (武相)	二見 (相洋)	飯島 (東海)	尾方 (東海)		
	34	-90	眞砂谷 (東海)	大塚 (桐蔭)	小原 (桐蔭)	長村 (桐蔭)	眞砂谷 (東海)		
	46	無差別	藤井 (桐蔭)	根津 (桐蔭)	春日 (東海)	吉田 (相洋)	藤井 (桐蔭)		
H25	75	-60	山本 (東海)	鈴木 (東海)	篠永 (日藤)	濱中 (武相)	山本 (東海)	山本 (東海)	3位
	123	-73	込山 (相洋)	芦川 (東海)	長澤 (桐蔭)	坂内 (桐蔭)	込山 (相洋)		
	43	-81	飯島 (東海)	間瀬 (相洋)	島田 (東海)	廣谷 (慶應)	飯島 (東海)	飯島 (東海)	準優勝
	36	-90	二見 (相洋)	岡田 (桐蔭)	大塚 (桐蔭)	田中 (桐蔭)	二見 (相洋)	二見 (相洋)	3位
	38	無差別	中尾 (東海)	小原 (桐蔭)	早川 (東海)	長谷川 (東海)	中尾 (東海)		
H26	94	-60	山本 (東海)	富吉 (相洋)	元嶋 (桐蔭)	澁沢 (慶應)	山本 (東海)		
	140	-73	後藤 (慶應)	鈴木 (東海)	古庄 (東海)	蒔田 (光明)	後藤 (慶應)		
	57	-81	赤川 (桐蔭)	酒井 (桐蔭)	渡辺 (慶應)	石井 (横浜)	赤川 (桐蔭)		
	30	-90	李 (東海)	原 (東海)	中村 (東海)	小澤 (東海)	李 (東海)		
	36	無差別	早川 (東海)	辻 (東海)	熊木 (東海)	河内 (東海)	早川 (東海)		
H27	66	-60	高野 (桐蔭)	新井 (日大)	吉富 (桐光)	相田 (相洋)	高野 (桐蔭)		
	75	-66	石郷岡 (桐蔭)	湯本 (桐蔭)	平野 (横浜)	湯坐 (慶應)	石郷岡 (桐蔭)		
	81	-73	後藤 (慶應)	古庄 (東海)	佐藤 (桐蔭)	田上 (横浜)	後藤 (慶應)	後藤 (慶應)	3位
	51	-81	原 (東海)	榎田 (東海)	原田 (相洋)	中村 (日藤)	原 (東海)		
	74	無差別	辻 (東海)	平下 (東海)	石川 (東海)	熊木 (東海)	辻 (東海)		
H28	73	-60	大石 (桐蔭)	狩野 (光明)	池内(既) (光明)	平石 (横浜)	大石 (桐蔭)		
	64	-66	相田 (相洋)	湯本 (桐蔭)	新井 (日大)	中里 (相洋)	相田 (相洋)		
	76	-73	佐藤 (桐蔭)	古澤 (慶応)	吉田 (東海)	相澤 (日大)	佐藤 (桐蔭)		
	41	-81	賀持 (桐蔭)	山科 (東海)	鳴海 (東海)	村岡 (横浜)	賀持 (桐蔭)	賀持 (桐蔭)	3位
	76	無差別	関根 (桐蔭)	村尾 (桐蔭)	笹谷 (東海)	千野根 (桐蔭)	関根 (桐蔭)	関根 (桐蔭)	準優勝
H29	69	-60	梶本 (東海)	須永 (桐蔭)	前山 (武相)	金子 (二宮)	梶本 (東海)		
	58	-66	長谷川 (相洋)	奥田 (桐蔭)	笠 (桐蔭)	東山 (東海)	長谷川 (相洋)		
	67	-73	足立 (東海)	竹内 (桐蔭)	荒井 (相洋)	笠 (東海)	足立 (東海)		
	31	-81	賀持 (桐蔭)	高橋 (横浜)	ニヤン (横浜)	西岡 (東海)	賀持 (桐蔭)		
	60	無差別	村尾 (桐蔭)	千野根 (桐蔭)	大村 (東海)	森井 (慶応)	村尾 (桐蔭)	村尾 (桐蔭)	準優勝
H30	72	-60	東山 (東海)	藤井 (桐蔭)	奥山 (武相)	細谷 (慶応)	東山 (東海)		
	63	-66	佐々木 (桐蔭)	笠 (東海)	大村 (東海)	秦 (桐蔭)	佐々木 (桐蔭)		
	53	-73	有馬 (東海)	須永 (桐蔭)	鈴木 (日大)	下里 (横浜)	有馬 (東海)		
	42	-81	高橋 (横浜)	山本 (桐蔭)	松永 (慶応)	西岡 (東海)	高橋 (横浜)		
	51	無差別	安藤 (桐蔭)	秦 (慶応)	中野 (桐蔭)	藤島 (東海)	安藤 (桐蔭)		
R01	80	-60	藤井 (慶応)	小山 (桐蔭)	久保 (日藤)	得平 (桐蔭)	藤井 (慶応)	緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染拡大予防)のため大会実施中止	
	49	-66	大村 (東海)	本田 (横浜)	島山 (日藤)	長島 (日大)	大村 (東海)		
	61	-73	滝本 (東海)	平野 (桐蔭)	佐藤 (相洋)	玉代勢 (横浜)	滝本 (東海)		
	35	-81	天野 (東海)	渡辺 (桐蔭)	多田(既) (東海)	松永 (慶応)	天野 (東海)		
	59	無差別	菅原 (東海)	工藤 (東海)	金子 (東海)	増田 (東海)	菅原 (東海)		
R02		-60	()	()	()	()	()		
		-66	()	()	()	()	()		
		-73	()	()	()	()	()		
		-81	()	()	()	()	()		
		無差別	()	()	()	()	()		

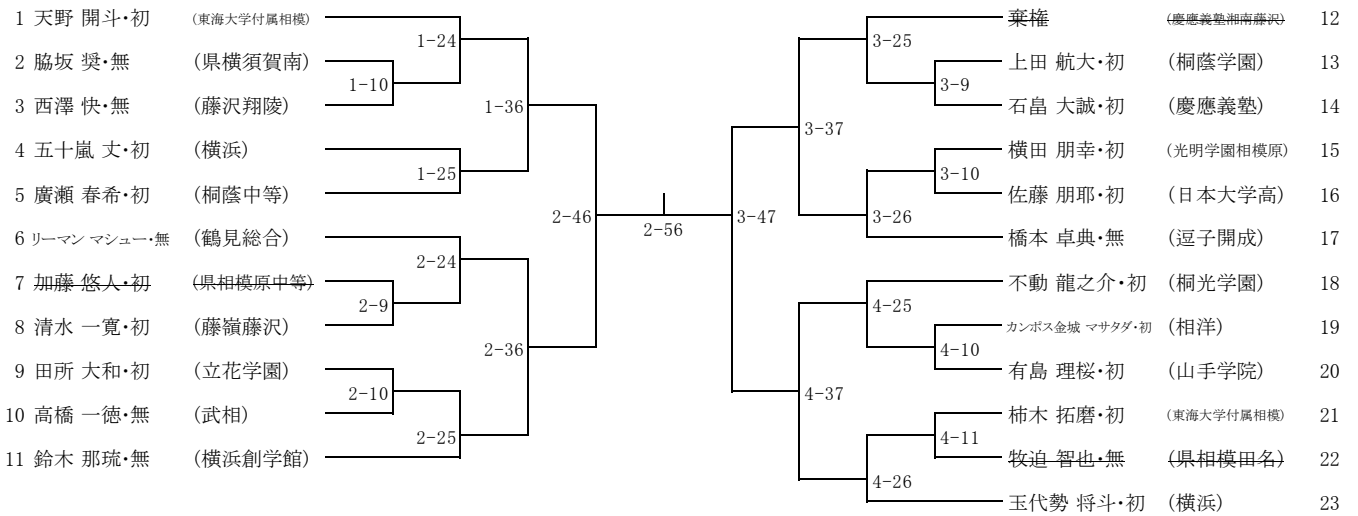
全国選手権県予選(女子個人)

年度	参加人数	階級	1位	2位	3位		本大会出場選手	入賞記録	
H23	42	-52	内尾 (桐蔭)	渡邊 (須賀学)	小山 (須賀学)	橋本 (三浦)	内尾 (桐蔭)		
	16	-57	山本 (桐蔭)	小泉 (日藤)	鈴木 (須賀学)	田中 (須賀学)	山本 (桐蔭)	山本 (桐蔭)	優勝
	16	-63	栗原 (須賀学)	橋本 (須賀学)	中山 (桐蔭)	大胡田 (須賀学)	栗原 (須賀学)		
	8	-70	佐俣 (三浦)	藤田 (桐蔭)	北村 (光明)	金谷 (光明)	佐俣 (三浦)	佐俣 (三浦)	第3位
	5	無差別	大森 (桐蔭)	高橋 (三浦)	鳥沢 (三浦)	山口 (須賀学)	大森 (桐蔭)		
H24	41	-52	内尾 (桐蔭)	小山 (須賀学)	千葉 (須賀学)	米元 (須賀学)	内尾 (桐蔭)	内尾 (桐蔭)	優勝
	14	-57	渡邊 (須賀学)	田中 (須賀学)	大川 (日藤)	山内 (相洋)	渡邊 (須賀学)		
	11	-63	栗原 (須賀学)	橋本 (須賀学)	鈴木 (桐蔭)	大庭 (伊志田)	栗原 (須賀学)		
	4	-70	佐俣 (三浦)	松爲 (白鵬)	水嶋 (希望丘)	柏熊 (旭)	佐俣 (三浦)		
	7	無差別	岡田 (須賀学)	金子 (厚木北)	小銭 (日藤)	水沼 (日藤)	岡田 (須賀学)		
H25	26	-52	五十嵐 (須賀学)	根本 (須賀学)	福島 (桐蔭)	馬場 (桐蔭)	五十嵐 (須賀学)		
	19	-57	栗田 (須賀学)	櫻井 (桐蔭)	飯島 (須賀学)	鈴木 (三浦)	栗田 (須賀学)		
	14	-63	嶺井 (桐蔭)	大庭 (伊志田)	野口 (三浦)	松上 (白鵬)	嶺井 (桐蔭)		
	9	-70	大川 (須賀学)	小林 (三浦)	鈴木 (桐蔭)	山崎 (日藤)	大川 (須賀学)		
	7	無差別	金子 (厚木北)	岡田 (須賀学)	佐藤 (光明)	佐藤 (白鵬)	金子 (厚木北)		
H26	27	-52	仲田 (桐蔭)	馬場 (桐蔭)	武田 (三浦)	福島 (桐蔭)	仲田 (桐蔭)	仲田 (桐蔭)	第3位
	15	-57	櫻井 (桐蔭)	栗田 (須賀学)	飯島 (須賀学)	鈴木 (三浦)	栗田 (須賀学)	栗田 (須賀学)	第3位
	11	-63	嶺井 (桐蔭)	児玉 (須賀学)	志村 (日藤)	宇野澤 (桐蔭)	嶺井 (桐蔭)	嶺井 (桐蔭)	優勝
	10	-70	小林 (三浦)	大川 (須賀学)	山崎 (日藤)	石崎 (日大)	小林 (三浦)		
	10	無差別	田中 (須賀学)	小林 (須賀学)	山田 (三浦)	久野 (三浦)	田中 (須賀学)		
H27	13	-48	仲田 (桐蔭)	五十嵐 (須賀学)	入江田 (三浦)	常見 (桐蔭)	仲田 (桐蔭)		
	13	-52	三浦 (三浦)	児玉 (須賀学)	永田 (桐蔭)	古都 (三浦)	三浦 (三浦)		
	11	-57	若藤 (桐蔭)	石岡 (三浦)	堀 (日藤)	吉野 (須賀学)	若藤 (桐蔭)		
	16	-63	渡邊 (須賀学)	朝飛 (桐蔭)	前田 (須賀学)	平形 (須賀学)	渡邊 (須賀学)		
	12	無差別	田中 (須賀学)	小林 (須賀学)	川村 (桐蔭)	味間 (須賀学)	田中 (須賀学)		
H28	14	-48	渡邊 (須賀学)	柏葉 (白鵬)	本城 (新羽)	常見 (桐蔭)	渡邊 (須賀学)		
	19	-52	三浦 (三浦)	永田 (桐蔭)	小宮山 (三浦)	寺嶋 (三浦)	三浦 (三浦)	三浦 (三浦)	3位
	18	-57	若藤 (桐蔭)	石岡 (三浦)	清水 (三浦)	甲斐 (三浦)	若藤 (桐蔭)	若藤 (桐蔭)	準優勝
	13	-63	渡邊 (須賀学)	渡邊 (桐蔭)	初鹿野 (三浦)	石澤 (三浦)	渡邊 (須賀学)		
	11	無差別	朝飛 (桐蔭)	野澤 (桐蔭)	井上 (須賀学)	伊庭 (三浦)	朝飛 (桐蔭)		
H29	9	-48	渡邊 (須賀学)	金子 (三浦)	府川 (立花)	今野 (桐蔭)	渡邊 (須賀学)	渡邊 (須賀学)	3位
	16	-52	長友 (桐蔭)	松坂 (日藤)	甲斐 (三浦)	岩瀬 (須賀学)	長友 (桐蔭)		
	12	-57	込山 (相洋)	石澤 (三浦)	清水 (三浦)	濱名 (須賀学)	込山 (相洋)		
	18	-63	渡邊 (桐蔭)	小宮山 (三浦)	小泉 (白鵬)	山田 (須賀学)	渡邊 (桐蔭)		
	8	無差別	朝飛 (桐蔭)	伊庭 (三浦)	小宮 (相洋)	佐藤 (三浦)	朝飛 (桐蔭)	朝飛 (桐蔭)	3位
H30	9	-48	佐藤 (須賀学)	片野 (須賀学)	今野 (桐蔭)	草野 (須賀学)	佐藤 (須賀学)		
	12	-52	葛巻 (須賀学)	山北 (桐蔭)	坂田 (三浦)	岩崎 (法政二)	葛巻 (須賀学)		
	10	-57	込山 (相洋)	長友 (桐蔭)	平野 (須賀学)	熊坂 (須賀学)	込山 (相洋)	込山 (相洋)	3位
	15	-63	鈴野 (須賀学)	横山 (須賀学)	小宮山 (三浦)	高久 (七里ヶ浜)	鈴野 (須賀学)	鈴野 (須賀学)	3位
	10	無差別	朝飛 (桐蔭)	佐藤 (三浦)	内田 (須賀学)	渋谷 (日藤)	朝飛 (桐蔭)	朝飛 (桐蔭)	優勝
R01	15	-48	佐藤 (須賀学)	草野 (須賀学)	藤島 (須賀学)	板橋 (三浦)	佐藤 (須賀学)		
	14	-52	山北 (桐蔭)	葛巻 (須賀学)	小宮山 (三浦)	坂田 (三浦)	山北 (桐蔭)		緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染拡大予防)のため大会実施中止
	14	-57	江口 (桐蔭)	田中 (創学館)	武藤 (白鵬)	鈴木 (立花)	江口 (桐蔭)		
	7	-63	猪川 (桐蔭)	横山 (須賀学)	笹原 (須賀学)	中村 (相洋)	猪川 (桐蔭)		
	12	無差別	荒川 (桐蔭)	内田 (須賀学)	沼沢 (光明)	渋谷 (日藤)	荒川 (桐蔭)		
R02		-48	()	()	()	()	()		
		-52	()	()	()	()	()		
		-57	()	()	()	()	()		
		-63	()	()	()	()	()		
		無差別	()	()	()	()	()		

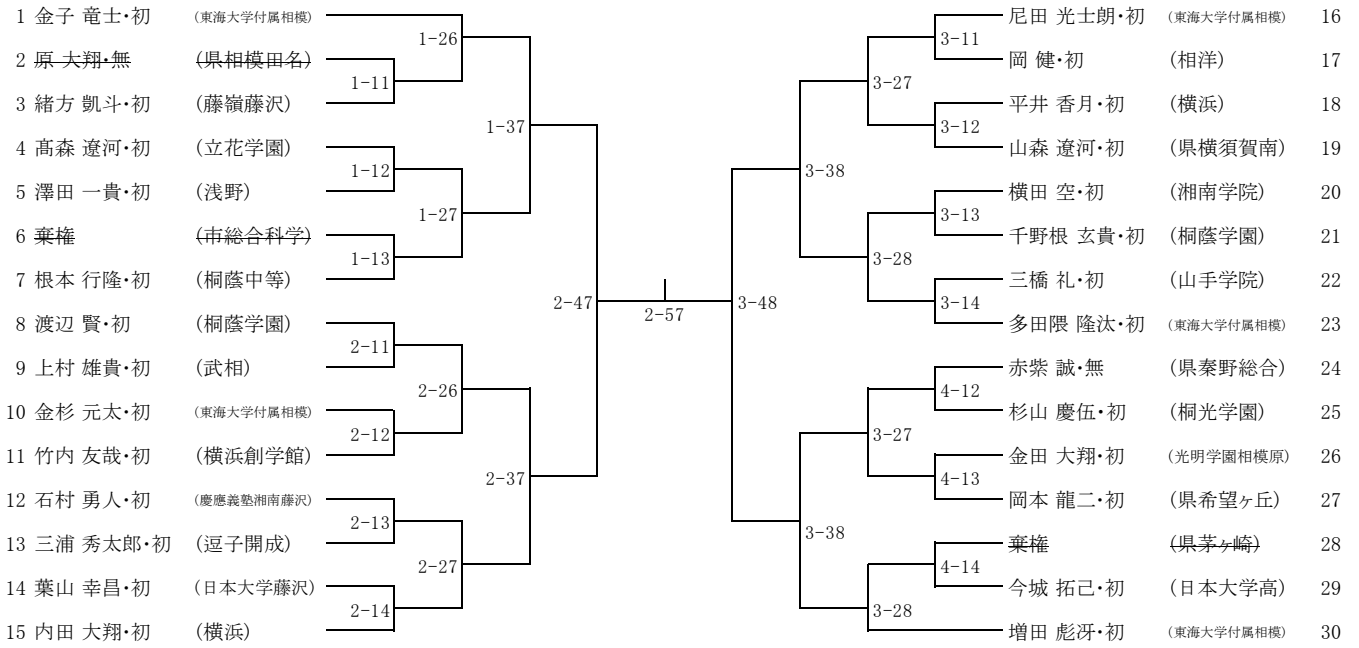
男子個人の部73kg級



男子個人の部81kg級



男子個人の部無差別級



女子個人の部48kg級

1 藤島 歩未・初	(横須賀学院)	—							高橋 杏奈・初	(三浦学苑)	6
2 半田 ひより・初	(県伊志田)	—	1-28	2-38	2-48	3-39	3-29		榎尾 恵美香・初	(湘南学院)	7
3 阿部 みうな・無	(日本大学高)	—	1-14				3-15		鈴木 朝子・初	(横浜創学館)	8
4 鈴木 花・初	(県相模原中等)	—		2-28			4-15		堀口 実華・無	(県相模原名)	9
5 濱口 結実・初	(三浦学苑)	—					4-29		島田 葉那・初	(横須賀学院)	10
									高 さくら・初	(三浦学苑)	11

女子個人の部52kg級

1 船山 葵音・初	(桐蔭学園)	—							三上 永愛・初	(横須賀学院)	8
2 益子 雅・初	(横浜)	—	1-29	2-39	2-49	3-40	3-16		松井 愛子・無	(法政大学第二)	9
3 宮崎 喜久・初	(光明学園相模原)	—	1-15				3-30		塩田 愛純・初	(光明学園相模原)	10
4 高橋 歩夢・初	(法政大学第二)	—		2-15			3-17		井桁 美優・初	(日本大学藤沢)	11
5 勝俣 優心・初	(相洋)	—		2-29			4-16		桃園 愛華・初	(光明学園相模原)	12
6 長谷川 愛海・初	(横須賀学院)	—		2-16			4-30		佐藤 颯姫・初	(横須賀学院)	13
7 小宮山 美佳・初	(三浦学苑)	—							相田 夏音・初	(桐蔭学園)	14

女子個人の部57kg級

1 江口 凜・忒	(桐蔭学園)	—							田中 美羽・忒	(横浜創学館)	7
2 神山 祐美・初	(立花学園)	—	1-30	2-40	2-50	3-41	3-31		親川 政来・無	(日本大学高)	8
3 齋藤 生咲・初	(相洋)	—	1-16				3-18		川村 京花・初	(桐蔭学園)	9
4 青木 美香・初	(横須賀学院)	—		2-17			4-17		本地 藍里・初	(県相模原中等)	10
5 荒井 奈々美・無	(白鵬女子)	—		2-30			4-31		ニヤン アフ・初	(横浜)	11
6 並木 千夏・初	(光明学園相模原)	—							青木 心音・初	(横須賀学院)	12

女子個人の部63kg級




1	中村 弘実・初	(相洋)	1-31	2-41	2-51	3-42	村上 舞羽・初	(光明学園相模原)	5
2	佐藤 美夢・初	(光明学園相模原)					井上 瑛恵・無	(山手学院)	6
3	山出 愛実・初	(桐蔭学園)	2-31	2-41	2-51	3-42	太田 有美・無	(法政大学第二)	7
4	渡邊 風・初	(横須賀学院)					笹原 芽依・初	(横須賀学院)	8


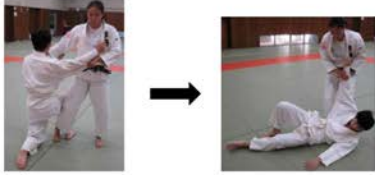

女子個人の部無差別級



1	荒川 音子・初	(桐蔭学園)	1-32	2-42	2-52	3-43	濱名 杏子・初	(横須賀学院)	6
2	間瀬 なな子・初	(相洋)					須藤 舞・初	(日本大学藤沢)	7
3	稲村 優衣・無	(県横須賀南)	1-17	2-42	2-52	3-43	小宮 愛梨・初	(白鷺女子)	8
4	林 優里・初	(光明学園相模原)	2-32				4-18	佐藤 里沙・初	(横浜創学館)
5	井上 桜・初	(横須賀学院)				4-33	星野 七虹・初	(桐蔭学園)	10



2 段階的指導手順例

段階	練習の内容	練習時間の目安 (60～90分で週 3～4回程度の場合)	見極めのポイント (各段階で確認後次の 段階へ)
第1段階 単独で後ろ受身 ができる	1-① 長座の姿勢からの受身  1-② 中腰の姿勢からの受身  1-③ 立位からの受身 	1～2週間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか

<p>第2段階 相手の動作（大外掛【通称】）に対応した後ろ受身ができる</p>	<p>2-① 片膝をついた姿勢から、大外刈の崩し、体さばきに対応した受身</p>  <p>2-② 片膝をついた姿勢から大外掛（通称）に対応した受身</p>  <p>2-③ 立位から、大外掛（通称）に対応した受身</p> 	<p>1～2ヶ月間程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか ・取りは、引き手を離さず保持しているか
---	---	-----------------	--

<p>第3段階 初歩的な大外刈に対応した後ろ受身ができる</p>	<p>3-① 投げで、刈りあげない大外刈に対応した受身</p>  <p>3-② 初歩的な大外刈に対応した受身</p>  <p>3-③ 出ようとしたとき、下がろうとしたときにかけられる初歩的な大外刈に対応した受身</p>	<p>3ヶ月間程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか ・取りは、引き手を離さず保持しているか
--------------------------------------	--	---------------	--

注-1：第3段階までの技能習得レベルを個々に評価し、安全を見極めてから次へ（投げ込み、乱取り）進むこと。

注-2：他校との合同練習や公式試合への参加の可否についても同様に判断すること。

注-3：大内刈、小内刈など後ろに倒される技についても同様に確認すること

注-4：基礎体力、特に首周辺の筋力強化のトレーニングも並行して行うこと

高体連 昇段ポイント 成績確認書

第43回 全国高等学校柔道選手権大会 県予選会 個人の部

令和3年3月6日(土) 於:神奈川県立武道館

現段位	段	全柔連登録番号 (メンバーID)								
学校名										
ふりがな	-----		生年月日	平成	年	月	日			
氏名										

	年 月 日	大会名(個人・団体等)	相手の名前	相手の段位	ポイント
1	年 月 日			(無・初・弐)	点
2	年 月 日			(無・初・弐)	点
3	年 月 日			(無・初・弐)	点
4	年 月 日			(無・初・弐)	点
5	年 月 日			(無・初・弐)	点
6	年 月 日			(無・初・弐)	点
7	年 月 日			(無・初・弐)	点
8	年 月 日			(無・初・弐)	点
9	年 月 日			(無・初・弐)	点
10	年 月 日			(無・初・弐)	点
11	年 月 日			(無・初・弐)	点
12	年 月 日			(無・初・弐)	点
13	年 月 日			(無・初・弐)	点
14	年 月 日			(無・初・弐)	点
15	年 月 日			(無・初・弐)	点
16	年 月 日			(無・初・弐)	点

神奈川県高体連柔道専門部 部長 殿

上記の試合成績を確認しました。

令和 年 月 日

確認者 (顧問) _____ ㊞

※この用紙は切り取って、競技会案内19ページの「試合成績証明書」にも転記した上で合わせて保管してください。なお、「試合成績証明書」には部長印が必要となりましたことを申し添えます。

武道館避難経路

◎緊急放送や職員・大会主催者の指示に従って、落ち着いて避難してください

<弓道場>

- 射場・師範室からは、屋外巻わら場へ出る
- 観覧席・更衣室からは、玄関方面へ
- 渡り廊下の扉からは備え付けの鍵で開錠し屋外へ出る

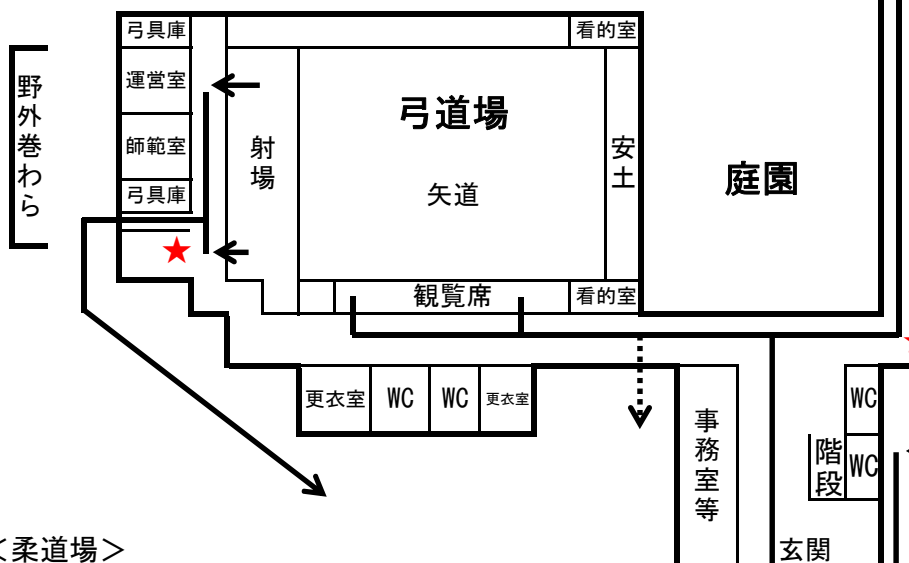
<小道場・師範室・更衣室>

- 廊下に出て玄関方面へ
- 廊下に出て階段を下り、職員通用口または駐車場から屋外へ
- ※職員通用口は館内から開錠できます（目的外利用禁止）
- 駐車場シャッターが動けば駐車場からも屋外へ

<地下>小道場の真下



<1階> ★: AED (2箇所設置)



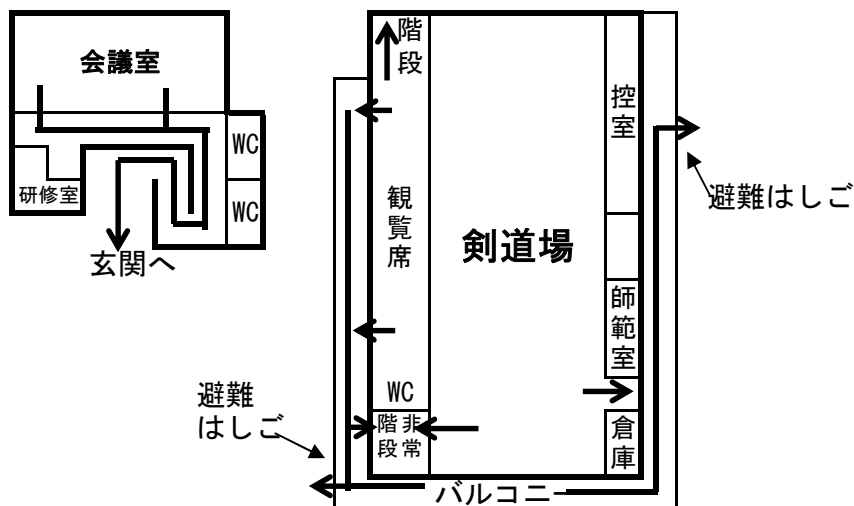
<柔道場>

- 観覧席から屋外へ出る
- 観覧席から階段を上り玄関方面へ
- 試合場から給湯室、非常口、観覧席から屋外へ

<剣道場>

- 観覧席から階段を下り玄関方面へ
- 観覧席からバルコニーへ出て、避難はしご又は非常階段を下りる
- 試合場から観覧席、給湯室からバルコニーへ出る
- 試合場から非常階段・通常階段を下りて柔道場非常口・玄関方面へ

<2階> ※会議室は玄関広間2階、剣道場は柔道場の上階



<会議室>

- 階段を下りて玄関へ

<全体>

- ◎各階段の幅が狭いので、慌てずに避難してください。
- ◎巨大地震の際は瓦の落下にご注意ください。
- ◎剣道場～柔道場の非常階段には荷物を置かないでください。
- ◎各道場観覧席後方の通路は荷物を置かず、十分な広さを確保してください。
- ◎出火の際は近くの火災報知器のボタンを強く押してください。
- ◎裸足の方がほとんどですので、破片等に注意してください。

※剣道場非常階段は柔道場非常口に通じる

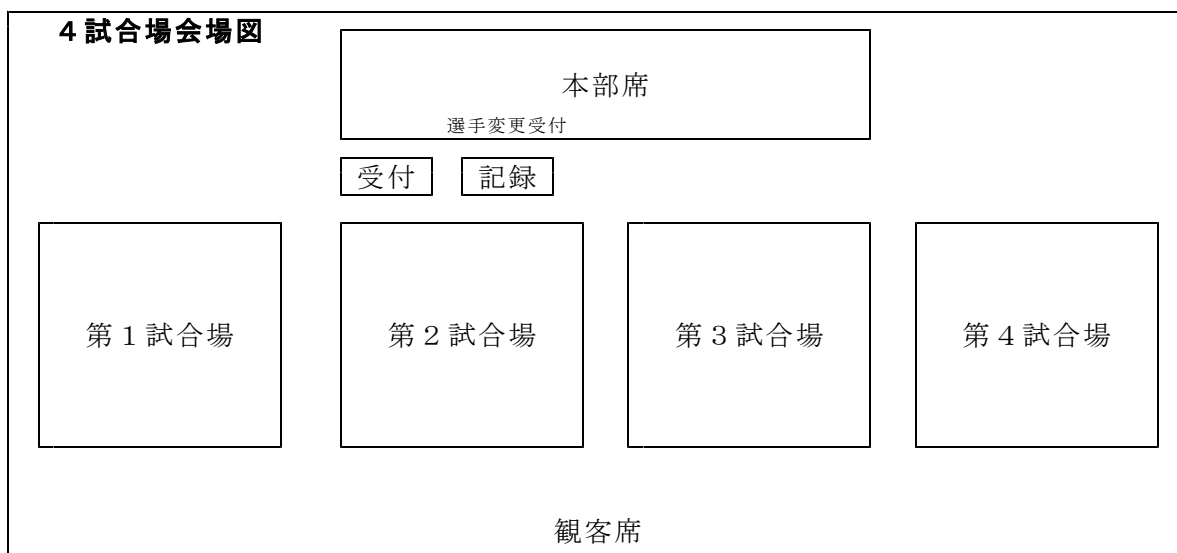
大会に関する申し合わせ事項

1. 大会運営について

- (1) 各学校引率責任者は「試合上の注意・運営上の注意」前までに本部受付にて受付を行う。
- (2) 大会中の選手の行動については柔道選手としてふさわしいものであるよう指導する。
- (3) 貴重品は各学校で責任を持って保管する。
- (4) 更衣は決められた場所で行ない、廊下等では行わない。決められた場所以外に不用意に立ち入らない。また、更衣場には敷物等を敷かない。
- (5) ビン類（ガラス容器）の持ち込みは固く禁止する。
- (6) 各校で出したゴミは必ず持ち帰る。特に、弁当の食べ終わった容器をそのままにしない。
- (7) 県立武道館避難経路を必ず確認する。
- (8) 競技をしている時以外は密を避けるように努める。
- (9) 試合実施上の注意
 - ① 試合開始前
 - ア. マスクをビニール袋に入れ、各自で管理する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ② 試合直後
 - ア. マスクを着用する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ウ. 各自、クールダウンを行う。
 - a. 時間：5分程度
 - b. 状態：呼吸が整うまで※監督指導はクールダウンが終了後に行う。
 - エ. 試合中について
 - a. 試合を行っている選手以外は大きな声を出さない。

試合規定

1. 国際柔道連盟試合審判規定ならびに全国高体連柔道専門部申し合わせ事項によって行う。
2. 試合時間は3分とする。
3. 優勢勝ちの基準
 - (1) 個人の部においては、「技あり」「僅差」（指導の差2）以上とする。優勢勝ちの基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。



神奈川県高体連柔道専門部